

平成21年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7857）

3目 予防費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新型インフルエンザ対策事業	11,878	8,357	3,521	4,708			7,170	
トータルコスト	30,934千円（前年度 14,751千円）							
従事する職員数	正職員：2.3人							
主な業務内容	協議会、研修会の開催等							

説 明

1 事業の目的

新型インフルエンザの発生が危惧される中、県内での新型インフルエンザ発生に備え、迅速かつ的確な対応が図られるよう、関係機関の連携強化、医療従事者の育成等を行う。

○新型インフルエンザ流行時の被害想定

区 分	鳥取県	全 国
罹患者数	約152,500人	約3,200万人
医療機関受診患者数	約71,500人～119,200人	約1,500万人～2,500万人
入院患者数 （1日最大数）	約3,230人～12,200人 （480人）	約53万人～200万人 （10.1万人）
死亡者数	約810人～3,050人	約17万人～64万人

※出典：「鳥取県新型インフルエンザ対応行動計画」より

2 事業の内容

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予算額
【新規】医療機関等連携体制の整備	本県の新型インフルエンザ対応における発熱外来や入院医療機関の整備等について、県、医師会、医療機関等からなる連携会議を県及び二次医療圏毎で開催する。	2,123
【新規】医療従事者等研修	新型インフルエンザ患者の治療に対応できる医療従事者の増を図るため、呼吸器科、小児科等以外の医療従事者に対する研修を実施するほか、発生時の初動体制の強化を図るため、保健所職員に対する研修を実施する。	2,719
鳥取県抗インフルエンザウイルス薬対策委員会	タミフル等の抗インフルエンザウイルス薬の安定供給体制について協議する。	303
検査試薬等	衛生環境研究所において行う検査に要する経費。	1,099
【拡充】患者移送車の配備	新型インフルエンザ等の感染症患者を移送するための車両を配備する。 ・配備箇所：中部総合事務所 ・配備台数：1台 （東・西部については配備済み）	5,634
合 計		11,878

（参 考）20年度の取組

- 1 保健所職員用感染防護具の整備（5,000人分）
- 2 発熱外来用感染防護具の整備（10箇所分）
- 3 入院受入医療機関の整備する人工呼吸器、感染防護具の整備に対する助成（15医療機関）